

脊柱側弯症一次検診陽性の児童生徒の保護者の皆様へ

脊柱側弯症（背骨のまがり）は小児期の整形外科疾患の代表であり、早期発見がとても大切です。脊柱側弯症一次検診陽性のお子さんは、**必ず整形外科**に行き、X線検査を受けて下さい（整形外科未受診で変形が進行してから発見されることが大きな問題となります）。

脊柱側弯症の早期発見が必要な主な理由は、以下の4点です。

1. 脊柱側弯症は、**進行する可能性のある脊柱変形**です。
2. 治療方法には装具と手術がありますが、**進行すると手術が必要**です。
3. **放置すると著しく変形が進む**こともあり、脊柱変形のみでなく**心肺機能が低下**する場合があります。
4. 小児期は無症状ですが、成人期以降に**難治性の腰背部痛**の原因となることもあります。